

メーサイ病院看護師 2 人が 1 カ月の視察

メーサイ病院の看護師、ポンさんとダオさんは、2月4日に来日。城西病院で約1カ月間の視察を行い、3月4日にタイに帰国します。

2人は、シリサク・ナンタ院長とともに来日。東京の聖路加国際病院を視察した後、2月7日から城西病院で視察を行ってきました。外来や手術室、内視鏡室、一般病棟などで病院業務の視察や体験をしてきました。ノート片手に、日本の病院業務をつぶさに視察。日本語や英語の辞書を持ちながら、城西病院の看護師に積極的に質問し、日本の病院業務の現場を学んでいました。

医療自体は、日本とタイで大きな違いはないといい、病院の看護師に溶け込んで視察を行っていました。しかし、病院や医療システムでは違ったことが多く、一生懸命質問していました。車いすは、転落防止の安全ベルトがついているのに気付き、熱心に写真を撮って体験し、「タイでも取り入れたい」と話していました。

2019年2月25日



ナ
ハ
タ
イ
・
ジ
ュ
ン
ト
タ
イ
さ
ん

ポ
ン
さ
ん

病院のスタッフは、患者さんへのサービスマインドが強いのが印象的でした。タイでは救急が1日100件、外来患者さんは500人います。日本では部署を超えた仕事前のミーティングがあり、部署内だけのミーティングのタイとの違いを感じました。福祉も充実し、タイでも取り入れたい。



ポ
ン
チ
ャ
ノ
ク
・
ス
リ
ヤ
さ
ん

ダ
オ
さ
ん

日本の看護師の段取りが素晴らしいと感じました。高齢者の患者のケアも城西病院では福祉施設があり、すごく細かい。救急車のシステムも病院に直接連絡するタイと違い、消防署が段取りをしている。将来は手術室の専門看護師の勉強をし、日本のシステムを取り入れていきたい。